

第4学年○組 社会科学習指導案

指導者 根本 陽子

1 単元名 わたしたちの住んでいる県

2 単元の目標

- (1) 自分たちの住む県の様子に关心をもち、意欲的に調べ、その特色を考えようとしている。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 自分たちの県と他県との位置関係を考えたり、県の様子について分かったことを相互に関連付けながら適切に表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- (3) 必要な情報を集め、自分たちの県の地理的位置、47都道府県の名称と位置、県の地形、産業、交通、都市の位置を読み取り、白地図や作品等にまとめることができる。
(観察・資料活用の技能)
- (4) 自分たちの県の地理的位置、都道府県名と位置、県の地形や主な産業、交通網、都市の位置等を理解できる。
(社会的事象についての知識・理解)

3 ICT活用のポイント

(1) 電子黒板



- ① 活用のねらい
 - ・資料を拡大して提示することにより、全員で課題等を共有しながら考えることができるようとする。
- ② 活用の工夫
 - ・茨城県の地形図にペンで書き込みをしながらポイントを示す。

(2) タブレットPC



- ① 活用のねらい
 - ・グループの考えを並べて提示することにより比較して考えることができるようとする。
- ② 活用の工夫
 - ・最後列の児童に見やすいように、大きさやレイアウトを工夫する。

4 本時の学習(2/7)

(1) 目標

- ・茨城県の地勢図を手がかりに県の地形を読み取り、県の特色をまとめることができる。

(2) 展開

時間	学習活動及び内容	・指導上の留意点○個別の支援○評価
10分	1 本時の学習課題を知る <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">茨城県はどんなところだろう。茨城県のこと を知らない人に説明してみよう。</div>	・地勢図、断面図を比べて見ることができるように提示する。 ○画像や図を指し示すことで視覚で理解できるよう支援する。
30分	2 資料の活用の仕方を知る。 3 県の地形に目を向ける。 4 県内のどこにどのような地形が広がっているのかを調べる。 5 グループでの意見交換をする。 6 全体で発表し、話し合う。	・山地、平地、海岸等の用語や方角を確認する。 ○画像や図を指し示すことで視覚で理解できるよう支援する。 ・次の活動につなげるようするために、県を3つに分けてそれぞれの地形的特徴を捉えるように助言する。 ・気付いたことを地図やノートに記入ができるようする。 ○山地、平地、海岸をキーワードにして地図に記入ができるように助言する。 ・地形の見方の視点が広がるような交流を促す。 ・タブレットPCを用いてグループの意見をまとめることができるようする。 ・タブレットPCを提示し、比較検討ができるよう助言する。 ○書くことができなかつた児童は友達の考えを聞くことで、地図やノートに記入するように助言する。 ・全体で話し合うことで茨城県の地形の特徴を捉える。
5分	7 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">県の東側は太平洋が広がっている。北部は山々が連なり、中央部から南西部にかけては平野が広がっています。</div>	・茨城県の地形の特徴を確認する。 ○地勢図、断面図を見て県の地形を読み取り、地図やノートにまとめることができる。 (観察・ワークシート)